

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和6年5月27日

部局等名	教育推進部	課かい名	社会教育課	推進責任者氏名	伊勢田 珠代
------	-------	------	-------	---------	--------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	ノートパソコンを長時間使用しないときは電源を切り、離席や休憩など短時間利用しないときはふたを閉じたりスリープ機能を活用した。また、夏期はアロハンヤツを積極的に着用しエアコンの温度を高め設定した。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないときは電源を切り、短時間の離席時はノートパソコンのふたを閉じることを徹底する。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	用紙の配架がまとまっていないという昨年度からの課題を解消し、集約したことにより用紙の新規購入を防いだ。Logoチャットを積極的に活用し、ペーパーレスを推進した。
	具体的内容	資源のリサイクルのためプラスチックごみ・古紙等の適切な分別を徹底する。	
3	取組項目	E. その他	屋外作業時は定期的に休憩し、水分・塩分を摂取し、熱中症をはじめとする体調管理を徹底した。
	具体的内容	夏季の屋外作業時は定期的に休憩し、水分・塩分を摂取し、熱中症対策を徹底する。	

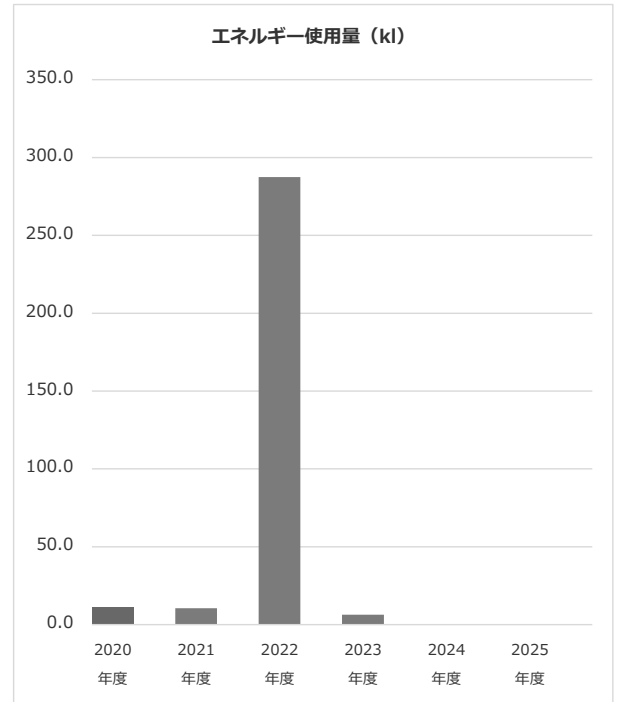
【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比	-97.8%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	今年度から博物館が対象外となったため使用量が減少した。また、日頃から光源や空調機などの使用を最低限に抑えるよう努めた。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	428.0	410.0	11141.6	249.0		
エネルギー使用量(kl)	11.0	10.6	287.5	6.4	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-4.2%	2617.5%	-97.8%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	梅田文化財収蔵庫	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めました。
2	文化財調査事務所	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めました。
3		計画	
		実績	

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	業務時間内は外出を要する職員が中心であり、担当で集まったの研修実施が困難であったため書面での開催とし、重点取組項目や取組目標について共有した。
法令遵守確認研修	■ 実施	取組目標設定研修と併せて書面で実施し、法令順守を確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	業務時間内は外出を要する職員が中心であり、担当で集まったの研修実施が困難であったため、朝礼等を利用して逐次周知に努めた。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
<p>職員一同環境に配慮した業務を心がけたと評価する。用紙の分散を解消し、新規購入を防ぐなど昨年度の課題を解決する姿勢もみられた。また、離席時はノートパソコンの蓋を閉じる、夏期はクールビズを心がけるといった省エネルギー活動も定着した。次年度も継続してC-MES実施計画書を意識した業務遂行を促したい。</p>	<p>昨年度は現場対応が必要な職員が多く、一堂に会する職場研修を実施することが困難であった。今後は職場研修の在り方について検討する必要がある。</p>

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和6年5月23日

部局等名	教育推進部	課かい名	博物館	推進責任者氏名	須藤 格
------	-------	------	-----	---------	------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象: 全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	こまめなパソコンの電源管理を行ったとともに、時間外を行う際は、使用しない諸室の照明を落とすように取り組んだ。時間外時間については、開館からようやく1年経過した段階であるため、館の運営と教育活動に要する時間を可能な限り増大しないよう努めた。(令和5年度時間外時間2,969時間)
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないときは電源を切り、短時間の離席時はノートパソコンのふたを閉じることを徹底します。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	収蔵品の管理について、収蔵品管理システムを活用し、既存の紙カードによる管理からシステム管理への転向を行った。また以前は主にチラシやポスターを用いた広報を行っていたが、博物館のアプリやホームページ、SNS等といった電子の広報媒体を活用して、一般や学校に向けて広報を行い、ペーパーレス化を進めた。
	具体的内容	紙である必要性を常に見直し、ペーパーレス化を進めます。	
3	取組項目	E. その他	夏季の屋外作業の際は帽子をかぶり、定期的な休憩と水分・塩分の摂取を行い、熱中症対策を徹底しました。
	具体的内容	夏季の屋外作業の際は帽子をかぶり、定期的な休憩と水分・塩分の摂取を行い、熱中症対策を徹底します。	

【対象: グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

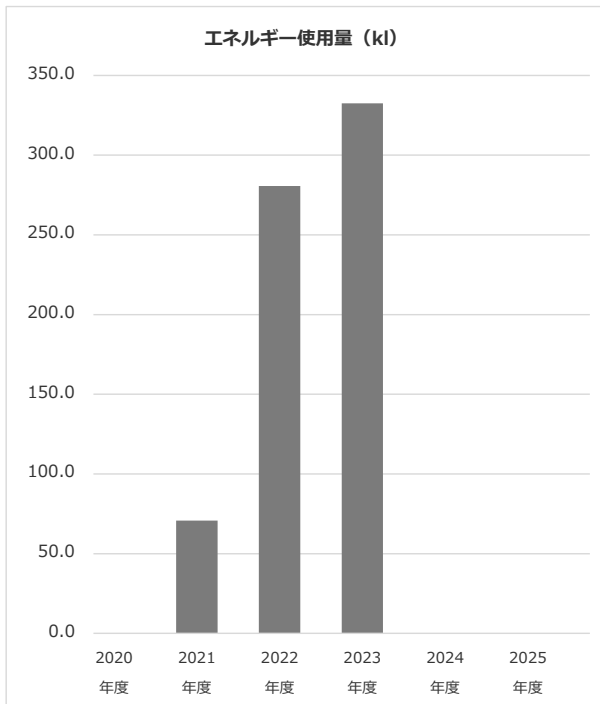
実績	前年度比	18.5%	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	令和4年7月30日に新博物館が開館し、令和4年度の開館期間は約8カ月間であったのに対し、令和5年度は初めての通年度の開館となったため、エネルギー使用量が増加した。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)		2743.0	10876.4	12890.2		
エネルギー使用量(kl)	0.0	70.8	280.6	332.6	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	296.5%	18.5%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	博物館	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	空調や照明等の起動・終了時刻をタイマーで運用し、温湿度も季節に併せて適正に管理運用に努めた。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月12日に実施（対象者12名中10名参加）し、欠席者には決定事項を周知した。C-EMSの概要と5年度の「重点確認項目」について確認するとともに、取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	取組目標設定研修と同時に実施、博物館という施設にとって必要ような法令遵守事項について確認した。
新任・異動者研修	(選択してください)	5月の「取組目標設定研修」は、新任異動者研修を兼ねているため、研修チェックは入れていません。（Q&A参照）
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月23日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
令和5年度は、初めて年間を通しての運営となり、エネルギー使用量が前年度より3か月分増加したものの、職員が一丸となり、環境に配慮した業務遂行を心がけ、省エネルギー活動を行えたと評価する。ミスプリントの再利用やLOGOチャットを活用した紙資源の削減も定着しはじめた。次年度も継続してC-EMS実施計画書を意識した業務遂行を促したい。	職員がC-EMS実施計画書を意識した施設運営をするよう職場雰囲気醸成し、今後、省エネルギー活動を推進したい。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年6月2日

部局等名	教育推進部	課かい名	小和田公民館	推進責任者氏名	浅井 志子
------	-------	------	--------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	エアコンを必要とする期間が長くなっており、適正温度での対応には限界がある。西日の当たる和室に、遮光、遮熱、カーテン設置、朝日の当たる部屋は、閉館時にカーテンを閉め、翌朝の室温上昇を抑える取り組みを行った。
	具体的内容	すべての部屋で扇風機を活用することで、エアコンの設定温度の適正化と熱中症予防の両立を図る。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	消火器の転倒防止器具、音楽祭の装飾、子ども事業用の団扇、まつりで使用する割りばしなどを地域からの寄付で賄い、庁内からもこより紐、使い捨て手袋他、様々な物品を譲り受けた。また、自治会への回覧用情報誌配布に使用する封筒も再利用に切り替え、るなどリユースに努めた。
	具体的内容	公民館事業に必要な物品を、地域市民、庁内各課の不要となったものを募ることで、資源を有効活用する。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	燃やせるごみの量が、減少し、週2回、1回あたり2袋の割り当てごみ袋が2か月分程度、残った。
	具体的内容	紙の分別を徹底より徹底し、廃棄物を減らし、資源回収に回す。	

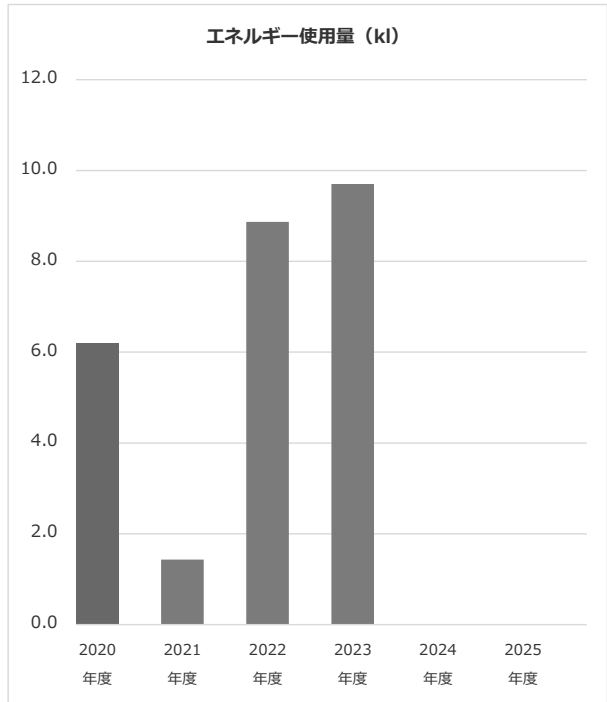
【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比	9.4%	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	5年度は、例年以上に気温の高い期間が長く、それに伴い冷房を使用する期間も長くなっているため、また暖房についても高齢の利用者からの要望が多く、使用期間が長くなっている。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	240.0	55.6	343.8	376.0		
エネルギー使用量(kl)	6.2	1.4	8.9	9.7	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-76.8%	518.3%	9.4%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	小和田公民館	計画	各部屋に扇風機を設置し、エアコンの適正使用を利用者に依頼する。
		実績	すべての部屋に扇風機を設置し、冷暖房の適正使用を利用者に依頼した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月6日の館内会議において実施（職員、社会教育嘱託員全員参加）、夜間管理業務員4名については、連絡ノートで知らせて、各出勤日に説明
法令遵守確認研修	■ 実施	6月6日の館内会議において実施（職員、社会教育嘱託員全員参加）、夜間管理業務員4名については、連絡ノートで知らせて、各出勤日に説明
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年6月21日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
<p>資源の有効利用、廃棄物の削減については、職員の取り組みにより、成果が出ている。しかし、エネルギー使用量の削減については、年々冷房を必要とする期間が長くなっていることなどから、削減は難しい。冷暖房及び、照明の適正利用の努力は続けるが、熱中症予防は大きな課題であるため、利用者の健康に配慮した冷房利用とする必要がある。暖房については、扇風機との併用で室内全体が温まることへの理解が進んでいる。</p>	<p>資源の有効利用、廃棄物の削減については、今後も可能な限りのリユースの取り組み、紙の分別を継続して取り組んでいきたい。エネルギー使用量については、削減は難しいが、冬季の扇風機利用を呼びかけを継続し、不要な照明を消すことに加えて、離席時にPCを閉じるなどの取り組みを行うなどエネルギー適正使用に努めていきたい。</p>

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月18日

部局等名	教育推進部	課かい名	社会教育課鶴嶺公民館	推進責任者氏名	荒 名穂子
------	-------	------	------------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	使用していない部屋等の照明をこまめに消灯した。
	具体的内容	必要のないところはこまめに消灯する。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	館内の情報共有や伝達事項をLogoチャットで行い、電子化、ペーパーレス化を実施した。
	具体的内容	館内での情報共有は、可能な限り電子化し、ペーパーレス化を図る。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	花壇の水撒きや夏の打ち水に雨水を使用した。
	具体的内容	散水用水等に可能な限り雨水を使用する。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

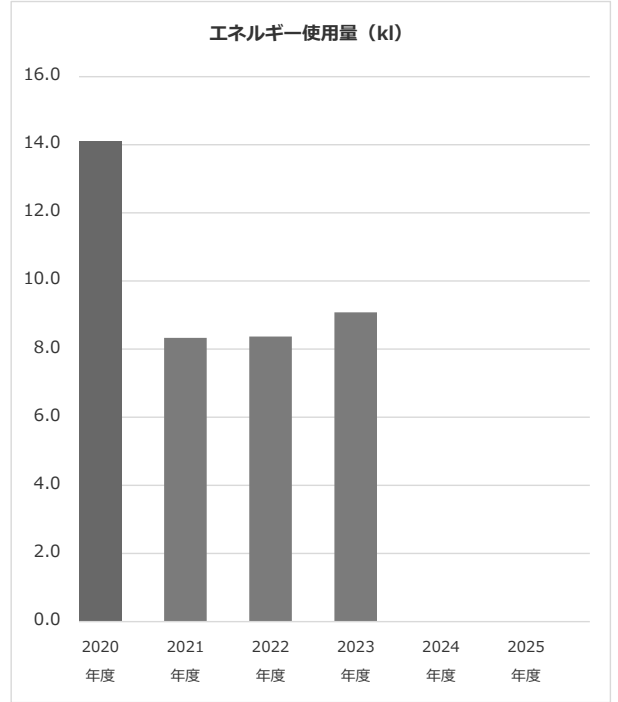
実績	前年度比	8.5 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	新型コロナウイルス感染症が5類になったこともあり、前年度と比べ施設の利用率が増加し、光熱水の使用量が増加したため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	547.0	323.0	324.3	352.0		
エネルギー使用量(kl)	14.1	8.3	8.4	9.1	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	-41.0%	0.4%	8.5%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	鶴嶺公民館	計画	室内機のフィルターや室外機のフィンコイルの清掃をそれぞれ年2回実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を年2回実施した。
2	鶴嶺公民館	計画	施設利用者へ空調、照明利用に係る省エネ活動について協力の声掛けを実施する。
		実績	利用者懇談会のなかで、省エネ活動について協力の声掛けを行った。
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	7月6日に実施（対象者6名中6名参加）。G-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、当館における取組目標及び具体的な取組を周知徹底した。
法令遵守確認研修	■ 実施	7月6日に実施（対象者6名中6名参加）。法令遵守事項を確認した。
新任・異動者研修	■ 未実施	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月18日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	
職員、施設利用者で節電に取り組んでいるものの、施設の利用率が増加している状況で「全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標」を対前年度比で達成することは難しいと感じている。	令和6年度からクーリングシエルターに指定されているため、エネルギー使用量の削減は一層難しくなることが予想されるが、今後も、こまめな消灯等できることから省エネに取り組んでいく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和6年5月25日

部局等名	教育推進部	課かい名	松林公民館	推進責任者氏名	西山 昭一
------	-------	------	-------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象: 全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	職員の1人1台パソコンは、電源を切ったり、蓋を閉じたりして節電をすることができた。公共施設予約システムパソコンは、決定通知書発行事務が常にあるため電源を切ることができなかった。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないときは、電源を切ります(昼休み、会議等)。短時間の離席時はノートパソコンのふたを閉じます。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	印刷については、両面印刷、2アップ印刷や使用済み裏面再利用を徹底することにより、会議資料等の削減を図りました。
	具体的内容	印刷は、両面印刷・集約印刷、裏面の利用を基本とします。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	庁内間でのやり取りや事務連絡に使用済封筒を繰り返し利用することにより、廃棄物の削減を図りました。また、ファイルや事務用品についても再利用することにより、廃棄物の削減を図りました。
	具体的内容	ファイルや封筒、その他の事務用品は繰り返し使用(リユース)します。	

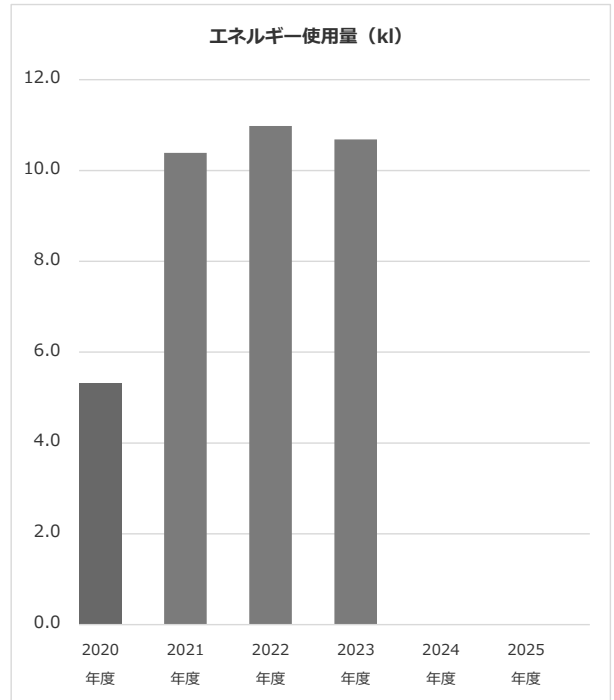
【対象: グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比	-2.7%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	長時間離席する場合は、PCスリープモードにしたり、館内の不要な箇所の電気を積極的に消す等メンバー一人一人が意識して行動した。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	205.9	402.6	425.6	414.2		
エネルギー使用量(kl)	5.3	10.4	11.0	10.7	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	95.6%	5.7%	-2.7%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	松林公民館	計画	空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2	松林公民館	計画	施設利用者への空調、照明利用の省エネ利用の声掛け
		実績	各部屋に省エネ協力の依頼事項を掲示した。
3		計画	
		実績	

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月23日に実施。6名中6名参加。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月23日に実施。6名中6名参加。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。法令遵守確認研修
新任・異動者研修	■ 実施	5月23日に実施。6名中6名参加。 C-EMSの概要と課かにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月29日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
職員の1人1台パソコンは、電源を切ったり、蓋を閉じたりして節電をすることができた。 印刷については、両面印刷、2アップ印刷や使用済み裏面再利用を徹底することにより、会議資料等の削減を図りました。 庁内間でのやり取りや事務連絡に使用済封筒を繰り返し利用することにより、廃棄物の削減を図りました。ファイルや事務用品についても再利用することにより、廃棄物の削減を図りました。 全体的な目標については概ね達成できておりますので、今後も引き続き活動を継続してまいります。	今後も職員1人1人が環境に配慮し、廃棄物の削減やエネルギー使用量の削減、資源の有効活用を積極的に推進し、全体的な排出量の削減に繋がってまいります。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月30日

部局等名	教育推進部	課かい名	南湖公民館	推進責任者氏名	星谷 尚央
------	-------	------	-------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	前年度から17%増となった。次年度も、空調の温度設定や未使用の部屋の消灯などさらに徹底する。
	具体的内容	使用していない部屋、市民が立ち入らない場所などの照明を消し節電に努める。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	講座案内チラシ等の裏紙を使用し、用紙を節約した。次年度も実施したい。
	具体的内容	簡易な館内印刷物の裏紙使用を推奨し、用紙を節約する。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	剪定枝をリサイクル施設へ持ち込みを3回実施した。次年度も実施したい。
	具体的内容	落ち葉や植木剪定材をリサイクル施設に搬入し資源化する。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

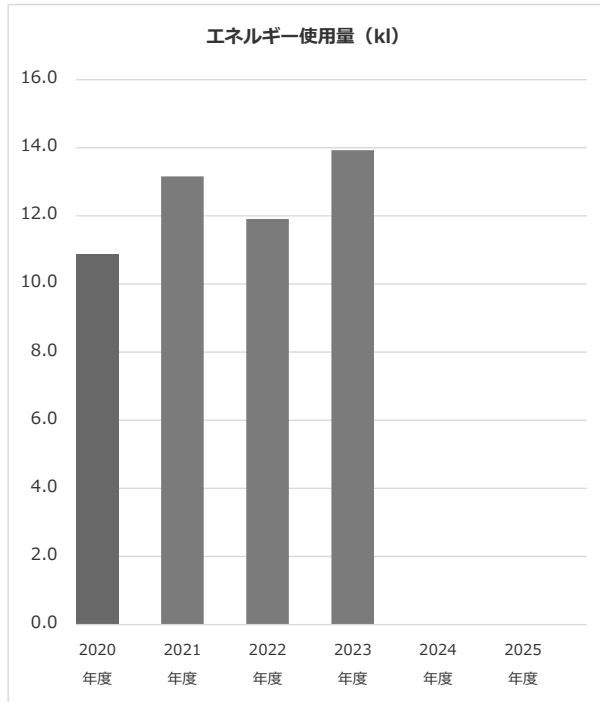
実績	前年度比	17.0%	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行したことで公民館活動が前年度より活発化し、夏が記録的な暑さとなったことで空調の使用が増えたためエネルギー使用量が増えた。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	422.0	510.0	461.7	540.0		
エネルギー使用量(kl)	10.9	13.2	11.9	13.9	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	20.9%	-9.5%	17.0%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	南湖公民館	計画	施設利用者へ空調、照明利用の省エネ協力を依頼する。
		実績	職員が常に消灯を心掛けるとともに、施設利用者への協力依頼も呼び掛けた。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	令和5年5月24日に実施。当年度の「重点取組項目」について確認するとともに、南湖公民館における取組目標及び具体的な取組を説明した。
法令遵守確認研修	■ 実施	令和5年5月24日に実施。法令順守事項等の確認をした。
新任・異動者研修	■ 実施	令和5年5月24日に実施。C-EMSの概要の説明をした。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月29日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行したことで公民館活動が活発化したことや、夏に記録的な暑さとなったことで熱中症予防のために空調を使う回数が増えた。そのためエネルギー使用量が前年度比17%増となったが、裏紙の再利用による資源の有効活用や、剪定枝のリサイクルによる廃棄物の削減に努めた。	空調の使用の際の温度管理や、未使用の部屋の消灯など職員も含めて利用者に呼び掛けていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月28日

部局等名	教育推進部	課かい名	香川公民館	推進責任者氏名	松下 晃久
------	-------	------	-------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標	実績/今後の課題など
1	重点取組項目 A. エネルギー使用量の削減	取組目標とした室温に設定した。 省エネの取組に努めたが記録的な猛暑により難しい場面が続いた。
	具体的内容 室温は次の温度を目安に設定します。 夏季(冷房時)25~28℃ 冬季(暖房時)18~20℃	
2	取組項目 A. エネルギー使用量の削減	節電を意識し必要のない電気をこまめに消すことで削減に努めた。
	具体的内容 長時間離席時には電源を切り、短時間離席時には蓋を閉じます。 必要のないところの蛍光灯はこまめに消灯します。	
3	取組項目 C. 廃棄物の削減	物品等の適切な在庫管理を行うとともリデュース(ごみになるものをへらすこと)に努めた。
	具体的内容 物品等の適切な在庫管理と計画的に購入を行います。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

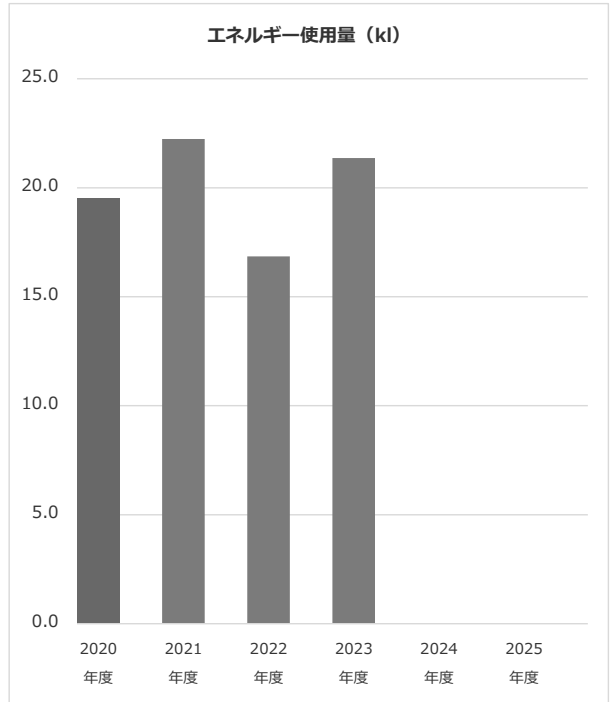
実績	前年度比	26.7% %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	想定を超える猛暑となり空調の使用量が増加した。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	757.0	862.0	653.3	828.0		
エネルギー使用量(kl)	19.5	22.2	16.9	21.4	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	13.9%	-24.2%	26.7%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況
1	香川公民館	計画 施設利用者へ空調及び電気利用の際の省エネ協力を依頼する。
		実績 利用者に省エネ協力依頼を実施するとともに、各部屋に依頼事項を掲示している。
2		計画
		実績
3		計画
		実績



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月20日に実施した。(職員5名参加、1名療養休暇中) 令和5年度における課かいの取組目標等について検討を行った。
法令遵守確認研修	■ 実施	取組目標設定研修と併せて、対象となる法令について内容を確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	7月20日に実施した。(職員6名参加、内1名新任、1名療養休暇中) 取組目標と対象となる法令について内容を確認した。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月28日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
空調については、高齢者が多い利用者の体調面への影響も考えて設定せざるを得ない状況であった。ゴミの分別は館内で徹底して行い、裏紙使用や両面印刷を積極的に行った。また職員だけでなく、利用者へ施設利用時における消灯確認等の協力を呼びかけ、節電に努めた。	資源の有効活用については、引き続き行う。また、施設の性質上、利用者側への「配慮」と「協力依頼」とを並行してしていくことが大切であり、エネルギー使用量への影響を常に念頭に置きながら運営を進めていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月23日

部局等名	教育推進部	課かい名	青少年課	推進責任者氏名	関山 知子
------	-------	------	------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	打合せ、会議、窓口対応時など離席する際や昼休憩時など、ノートパソコンを使用しない時間にはふたを閉じ、電力使用量の削減に努めた。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しない時は電源を切る、短時間の離席時にはふたを閉じることでエネルギー使用量の削減に努める。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	担当内の資料の共有は電子メール、logoチャット等を活用し、ペーパーレス化を図った。印刷する際には、内部資料であれば裏紙使用を行い、両面印刷や集約印刷を積極的に活用した。
	具体的内容	電子メール、logoチャット等を活用し、ペーパーレス化を推進する。印刷する際には両面印刷や集約印刷を積極的に活用する。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	再利用可能な事務資材の選定と適切な管理により、活用可能な状態を維持し、随時利用した。
	具体的内容	再利用可能な事務資材の選定と適切な管理により、活用可能な状態を維持し、随時利用する。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

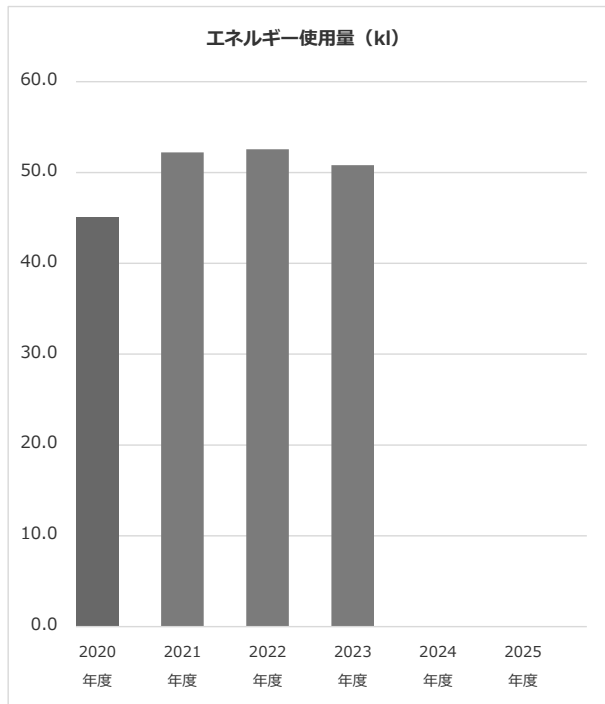
実績	前年度比	-3.3%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	所管施設の移転に伴い定員も増加したため、登所人数に合わせた照明・空調の利用を見直し使用量の削減ができた。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	1749.0	2023.5	2036.8	1969.3		
エネルギー使用量(kl)	45.1	52.2	52.5	50.8	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	15.7%	0.7%	-3.3%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	公設民営児童クラブ(25施設)	計画	登所人数に応じた空調・照明利用を心がけるよう依頼する。
		実績	登所人数に応じた空調・照明利用を心がけて事業を実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月14日に実施。C-EMSの概要、今年度の重点取組項目や取組目標について共有を図った。
法令遵守確認研修	■ 実施	毎月実施している定例会の中で、法令順守の内容について事業者に伝える。(南地区児童クラブ)
新任・異動者研修	■ 実施	6月14日に実施。C-EMSの概要、今年度の重点取組項目や取組目標と同時に共有を図った。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年 5月23日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
取組目標については、概ね実施できたと考える。特に資源の有効活用では、ツールでの共有が浸透してきたと感じる。設備機器の省エネの取組では、前年度日-3.3%となり、大きく削減できたのは評価できる。	今後においても引き続き省エネに取り組むとともに、指定管理者に対しても、よい取組み内容を共有をすることで、さらなる環境負荷の低減に取り組んでいく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和6年3月31日

部局等名	教育推進部	課かい名	体験学習センター	推進責任者氏名	松下 晃久
------	-------	------	----------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調に配慮しながら、館内の室温管理及び稼働状況の見直しを適宜行った。 ・使用していない電子機器の電源を切る、諸室の電気スイッチを使用時のみ点灯する等、職員及び利用者による取組を実施した。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の室温の適正な管理や稼働状況の見直しを行いエネルギー使用量を削減します。 ・電子機器を長時間使用しないときは、電源を切る等、エネルギー使用量の削減を意識しながら執務します。 	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、コピー用紙の両面印刷を徹底し、裏紙を積極的に使用した。エコ印刷を基本とし、トナーの消費を削減した。 ・井水利用による植栽等への散水を引き続き実施した。ホースからの水漏れが何か所もあることが判明したため、修繕を実施し、効率的な資源の利用へとつなげた。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の両面印刷及び裏紙使用に積極的に取り組む。 ・印刷時は、エコプリントを活用する。 ・井水利用による植栽等への散水や太陽光発電の活用 	
3	取組項目	E. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・パーゴラ緑地、グリーンネット緑化による建物の温度上昇の抑制を図った。 ・グリーンネット緑化においては、さやえんどうの親子収穫体験の実施が環境に配慮した取組の理解の一助となった。
	具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パーゴラ緑地及びグリーンネット緑化により、建物の上昇温度抑制を図る。 	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

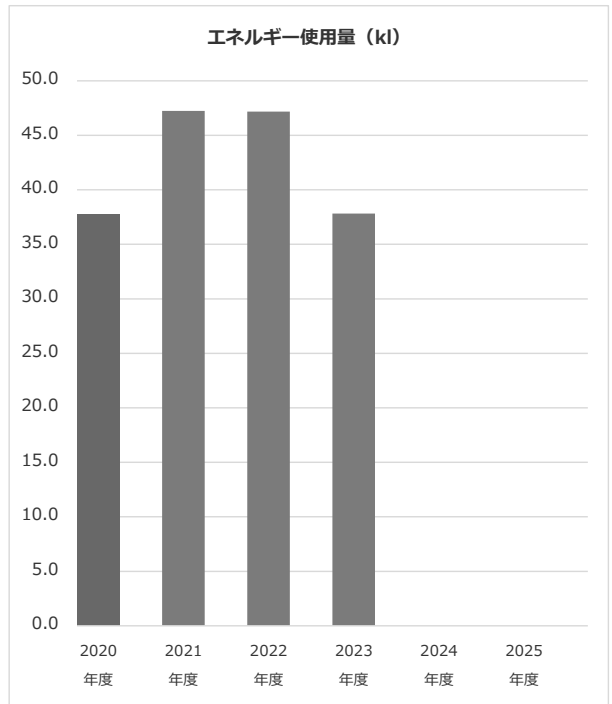
実績	前年度比	-19.8%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	夜間の全熱交換機の稼働状況を見直すことで電気使用量が下がり達成することができた。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	1465.0	1831.0	1829.0	1466.0		
エネルギー使用量(kl)	37.8	47.2	47.2	37.8	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	25.0%	-0.1%	-19.8%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	施設内空調設備	計画	空調室内機、全熱交換機フィルターの清掃を3か月に1回以上実施する。
		実績	空調の室内機、室外機、全熱交換等フィルターの清掃を全9回実施した。
2	新オリーブ広場周辺の雨水排水設備	計画	大雨注意報・警報発令時等に、雨水槽及び側溝内に溜まっている松葉や樹皮等を除去する。
		実績	新オリーブ広場、2階テラス周辺の雨水槽及び側溝内に詰まった松葉や樹皮等を定期的に除去した。
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月24日に実施（対象者11名中4名参加、欠席者には6月14日・15日に決定事項の周知を実施）。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月24日に取組目標設定研修と併せて実施（対象者11名中4名参加、欠席者には6月14日・15日に実施）。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年3月31日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
酷暑・極寒の時期に熱中症や感染症の対策を取りながら、環境に配慮した冷暖房の設定とすることは困難であったが、日頃から省エネルギーを心掛けており、可能な限りの取組を実施できたものと評価する。	令和6年度からは指定管理者による管理運営となる。環境への配慮は指定管理者公募の前提条件としており、これまでのような取組を指定管理者に引き継いでいく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月29日

部局等名	教育推進部	課かい名	青少年課青少年会館	推進責任者氏名	中原 英子
------	-------	------	-----------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標	実績/今後の課題など
1	重点取組項目 A. エネルギー使用量の削減	各諸室の空調の使用と温度の管理をするため集中管理としました。集中管理と節電への協力についてのポップを表示し、施設全体で節電対策に取り組みました。エコオフィス行動ルールによる温度設定を設け、施設利用者が安全に活動できる室温管理を行いました。
	具体的内容 エコオフィス行動ルールより、夏季は25～28℃、冬季は18～20℃を目安に設定し、室温を適正に管理します。	
2	取組項目 B. 資源の有効利用	職員間での共有事項はLogoチャットで行い、PCが使えない職員のみ紙での共有を図りました。両面印刷・縮約印刷・裏紙利用・エコ印刷を徹底して行いました。
	具体的内容 紙で印刷が必要な場合は、両面印刷や縮約印刷、裏面の利用やエコ印刷を徹底します。また、印刷前には印刷プレビューを確認し、ミスプリを防止します。	
3	取組項目 C. 廃棄物の削減	利用者用のごみ箱は自動販売機用以外は設置せず、ごみの持ち帰りを促す掲示を行いました。執務室に回収日の掲示を行い、事前配布された指定ゴミ袋の範囲での排出となりました。職員のごみは、可能な限り持ち帰りとなりました。
	具体的内容 マイバッグやマイボトルを使用し、廃棄物の削減を目指します。物品等は計画的な管理と再利用を図ります。館内のごみの分別を徹底するとともに、利用者にはごみの持ち帰りを呼びかけます。	

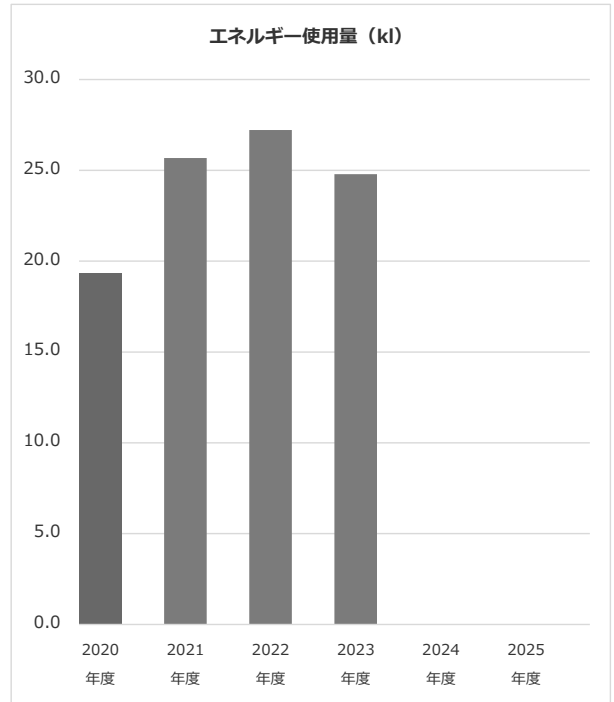
【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比	-8.9%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	空調の使用と温度の管理をするため集中管理とし、集中管理と節電への協力についてのポップを表示した。施設全体で節電対策に取り組み、エネルギー使用量を削減できたため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	748.9	995.3	1055.3	961.0		
エネルギー使用量(kl)	19.3	25.7	27.2	24.8	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	32.9%	6.0%	-8.9%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況
1	青少年会館	計画 空調設備点検を年2回実施します。
		実績 5月及び10月に実施しました。
2	青少年会館	計画 施設利用者へ空調や換気、照明利用の省エネを呼びかけます。
		実績 節電の呼びかけのポップを設置し、利用者へ省エネを呼びかけました。
3		計画
		実績

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月22日に実施（夜間管理業務員3名には別途決定事項を周知。）
法令遵守確認研修	■ 実施	6月22日に職員で確認研修実施
新任・異動者研修	■ 実施	6月22日に実施 11月以降に任用になった社会教育嘱託員には別で実施済。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月29日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
「エコオフィス行動ルール」の取組目標は達成されており、研修等についても実施いたしました。	引き続き法令を遵守しながら、エネルギー削減に努めます。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年6月15日

部局等名	教育推進部	課かい名	図書館	推進責任者氏名	高木 直昭
------	-------	------	-----	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	窓の開閉での室温管理を心掛け、利用者や職員の健康への配慮を踏まえた空調機器の使用に努めることができた。令和6年度については、クーリングシェルターとしての役割を担うことから、エネルギー使用量とのバランスが課題となると考える。
	具体的内容	室温に合わせた窓の開閉及び空調機器の適切な管理により、不要なエネルギー使用を削減する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	6月に実施した館内研修を踏まえ、各自パソコンの電源オフやスリープモードの使用など、エネルギー使用量の削減に取り組むことができた。令和6年度も引き続き取り組んでいきたい。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないときの電源オフや短時間の離席時はノートパソコンのふたを閉じることを徹底し、不要なエネルギー使用を削減する。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	行先や公務の内容に応じて交通手段を精査し、エネルギー使用量を意識しながら、削減に努めることができた。エコドライブも含め、令和6年度についても引き続き取り組んでいきたい。
	具体的内容	共用自転車の利用を優先し、移動時の距離や公務の内容を踏まえた交通手段を選択する。また、公用車運転時にはエコドライブに努める。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

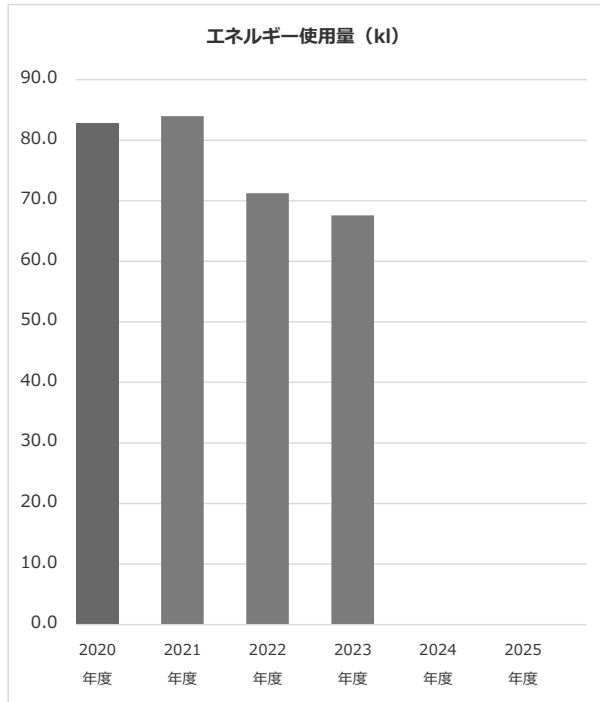
実績	前年度比	-5.1%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	多くの方が利用する施設として省エネ協力の呼びかけを行いながら、利用者の健康への配慮、その日の気温の変化の予報など様々な視点で空調の使用を心掛けたため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	3208.0	3254.9	2762.1	2619.9		
エネルギー使用量(kl)	82.8	84.0	71.3	67.6	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	1.5%	-15.1%	-5.1%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	図書館	計画	空調機器(冷温水発生機)の温度設定の定期的な見直し
		実績	冷温水機の保守点検時に業者に確認し、定期的な見直しを図ることができた。
2	図書館	計画	掲示などにより、施設利用者への空調、照明利用の省エネ協力の呼びかけ
		実績	掲示により、施設利用者へ協力を呼び掛けることができた。
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月15日に実施。 (図書整理日の館内会議にて、15名受講) C-EMSの概要と当年度の「重点取組項目」及び「取組項目」について確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月15日に実施(取組目標設定研修に同じ) 図書館にはフロンを使用した機器があるため、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に関し、フロン類算定漏えい量等の報告等(法第19条)等の義務があることについて情報共有した。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月17日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
目標に対して、職員一人一人が日々意識して取り組み、施設管理においても気候や室温を見ながら適切な空調管理を行うことで、目標達成につながったと考える。	温暖化による気温の上昇が考えられることや、令和6年度はクーリングシェルターとしての役割を果たす必要があること、そして毎年目標を達成することで、施設管理上できることに限界を感じるころではあるが、今後も引き続き努めていきたい。